

函館市役所職員労働組合との交渉の概要

- 交渉日時 平成28年11月21日(月) 18:17～20:12
○交渉場所 市役所8階大会議室
○出席者 当局側 中林副市長, 各部局長他 計約40名
組合側 長谷川執行委員長, 他 計約60名

交渉項目	平成29年度 事務事業・組織機構の見直しによる職員数の見直しについて
交渉要旨	<p>(組合)</p> <p>提案内容を聞いたが、今日の段階では持ち帰り、この内容がどうなのかということなどを含めて、職場で議論させていただきたい。また、今日は基本的な考え方の部分だけであり、個々具体的内容については、おそらく支部交渉の中で、しっかり議論されると思っているので、各職場での議論、交渉での対応も誠意をもって行っていただきたい。</p> <p>また、昨年も副市長にお願いをしたが、今日の提案以外でも、各職場では課題があると思っており、ぜひこの機会に、議論していただきたい。個々の課題までは言わないが、コミュニケーションや業務の進め方などいろいろあると思っている。もう一つは、人口減少について、もう避けられない状況にあると思っており、人口減少を食い止めるための対策は一方ではやっていかなければならないが、先々を見据えて、どういう組織であるべきかということをそれぞれの部局の中で議論いただきたい。もういい加減、厳しい状況になってから、見直すといっても対応もできないと思うので、今からそういった議論を各職場でスタートさせていただきたい。</p> <p>最後に、昨年話題となった職場での懇談会については、良かったという話もあったので、若い職員と部長が話しやすくなる雰囲気づくりも含めてお願いしたい。</p> <p>(中林副市長)</p> <p>平成29年度事務事業・組織機構の見直しについて提案させていただいたが、今回の提案は、今までの行革に伴う見直しから、様変わりし、これまでのような大規模な職員の削減は難しいと考えている。</p> <p>人口減少に伴っては、たしかに職員数も減らさなければいけないが、現実的には国の制度改正、権限移譲があり、それに伴う十分な財源が用意されていない。そういう中で我々是对応していかなければならず、それが職員数の増になるものもあっており、これから国や道に財源対策を要望する必要があると考えている。</p>

	もう一つは、職員と管理職のコミュニケーション不足によって連携がうまくできていないところもある。これは我々としても指導していきたいと思っている。
交渉結果	(交渉継続)
備考	

(総務部行政改革課 平成 28 年 12 月 7 日現在)